

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2020年1月13日（月曜日）13時00分～17時00分

場所： 東京八重洲ホール（中央区日本橋3-4-13 2F 201会議室）

出席代議員：相川、青木、大向、岡村、半田、河合、柴田、須藤、田村、馬場（寺田）、鈴木、深川、谷本、野村、松下、坪井、土居、井岡、縣、横山、百瀬、大内、梅村、一本、河野、長田（以上26名、委任状13名）

欠席代議員：大朝、奥村、草野、小久保、常田、戸谷、林、望月、渡部、犬塚、榎戸、北山、鶴、郷田（以上14名）

伊王野庶務理事、鹿野・早野会計理事、佐藤事務長、黒岩事務長補佐が出席した。梅村会長、馬場副会長、田村副会長、鈴木庶務理事は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が26名、議長委任状が13件、合計39件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会（2019年9月12日）の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：梅村雅之

署名人：梅村雅之

II. 議題

II-1. 公益社団法人日本天文学会2020年度事業計画の承認（資料3、鈴木）

2020年度の事業計画案が紹介された。PASJのページ数の年次推移を整理することが確認された。また、新ウェブページにおいては、研究者の利便性をよく考えること、マイページの検討を進めておくこと、研究会の情報を集約したページを検討することが確認された。賛成多数で承認された。

II-2. 公益社団法人日本天文学会2020年度予算の承認（資料4、鹿野）

2020年度の予算計画案が紹介された。会場費が高騰しているため、開催地依頼の際には会場費も含めて考慮すべきであることが指摘された。また、天体発見賞のメダル贈呈のやり方（発見の数だけメダルを贈呈すること）の是非や名簿の電子化についての意見があがった。賛成多数で承認された。また、「資金調達及び設備投資の見込みについて」も承認された。

II-3. 2019年度各賞受賞者の決定

林忠四郎賞・欧文研究報告論文賞（資料5、柴田）

受賞候補者として犬塚修一郎氏が推薦され、その業績について説明された。授賞理由書の文言を修正することを条件に、賛成多数で承認された。

欧文研究報告論文賞（資料5、柴田）

Tanaka et al. (2017)が推薦され、論文内容について説明されたのち、授賞理由書の文言の修正を条件に、賛成多数で承認された。Nakanishi et al. (2016)が推薦され、論文内容

について説明がされたのち、賛成多数で承認された。

研究奨励賞(資料 6、大内)

榎山和己氏、平野信吾氏、秋山和徳氏の三氏が研究奨励賞の候補に推薦され、推薦理由について説明されたのち、文言の修正を条件に賛成多数で承認された。

天体発見賞/天体発見功労賞、天文功労賞(資料 7、阿部)

天体発見賞・天体発見功労賞候補について推薦理由が説明されたのち、文言の修正を条件に賛成多数で承認された。天体発見の定義について委員会で議論することが確認された。天文功労賞(短期・長期)候補について推薦理由が説明されたのち、文言の修正を条件に賛成多数で承認された。

日本天文遺産(資料 8、馬場)

日本天文遺産として3件が推薦され、推薦理由について説明されたのち、それぞれに対して議論がされた。推薦書の文言の修正を条件に賛成多数で承認された。

天文教育普及賞(資料 9、土居)

候補者1名および候補団体1団体が推薦され、推薦理由が説明されたのち、どちらも賛成多数で承認された。

II-4. 名誉会員に関する定款の改定(資料 10、鈴木)

名誉会員の定款の第2項を誤解のない表現に変更することが提案され、総代議員の3分の2以上の賛成が得られ承認された。

== 変更前 ==

(名誉会員)

第8条 本会に特に功労のあった会員に対し、理事会が提案し代議員総会の議決をもって、名誉会員の称号を付与することができる。

== 変更後 ==

(名誉会員)

第8条 天文学の発展・振興に特段の貢献があった者に対し、理事会が提案し、代議員総会での議決をもって名誉会員の称号を付与することができる。ただし故人は除く。

2. 名誉会員が正会員でない場合は、正会員とする。

=====

II-5. 議題及び議論、報告事項について(資料 13、鈴木)

- 複数の委員会の連携を強化していくことが確認された。
- 物理学会が主導して、ヘリウム危機に対しての記者発表を行ったことが説明され了承された。
- スターリンク衛星の天文観測への影響に関する天文月報記事が発表されることが説明され、会長談話という形で学会の意見を表明することが確認された。
- 天文学振興財団から、天文学振興財団の賞(古在賞・吉田賞)が創設される予定であり、協賛する方向で内容を詰めていくことが了承された。

II-6. PASJ 講演について(鈴木)

欧文研究報告論文賞への関心を高めるための試みとして、秋季年会で10-15分程度の講演を受賞者にしてもらうことが提案された。継続審議とする。

II-7. その他

「安全保障と天文学」に関し、前回の代議員総会ならび会員全体集会にて、一部の研究組織に

において防衛装備庁の研究費応募が模索されているという情報があることから、これに関しての議論の時間を設けてもらいたいとの要望があり、議事録に記載のように今回の代議員総会で「安全保障と天文学」について継続して議論することとなっていたが、今回の議題として上げられていなかったとの指摘があった。

防衛装備庁の研究費応募に関しては、日本天文学会は公益社団法人として特定の研究組織に対して要望や提言を行う立場にはないことを理事会で確認したということが議長より報告された。

「安全保障と天文学」については、次回年会中の代議員総会は時間が限られるため、次々回の代議員総会で継続して議論することとなった。

III. 報告

III-1. 理事会（2019年12月27日）の報告（鈴木）

2019年12月27日に開催された日本天文学会理事会の報告がされた。

III-2. 第6期代議員選挙の結果について（資料11、河野）

12月9日に締め切られた代議員選挙の開票が12月10日に行われた。本年度から電子投票システムを導入したが、特段大きな問題はなく作業が進行した。来年度も継続して本システムを使用する予定である。

III-3. PASJ 編集委員の交代および提案について（資料12、鈴木）

固武 慶委員の後任として滝脇 知也氏が推薦され、理事会で承認されたことが報告された。

III-4. IAU 報告（深川）

前回の代議員総会から特に進捗なし。

[資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 前回(2019年12月27日)代議員総会議事録(案)

資料3 2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)事業計画書(案)

資料4 収支予算書案

資料5 林忠四郎賞および欧文研究報告論文賞選考経過報告

資料6 研究奨励賞

資料7 天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞 候補者推薦書

資料8 日本天文遺産 選考経過報告書

資料9 天文教育普及賞の選考経過報告書

資料10 名誉会員について

資料11 代議員選挙 開票結果報告

資料12 PASJ 編集委員会からの報告と提案

資料13 議論・報告事項について(鈴木庶務理事他)

2020年1月13日

議長・署名人：梅村雅之 印